

# いな 鄙からの発信

“ポスト「右肩上がり」時代”の  
鑑定評価のために、鑑定協会の  
パラダイム（思考の枠組み）を転換しよう。

「鄙（ヒナ）」とは在郷のことであり、旧態を残すものの、暖かさを秘めた地方のことです。美しき日本の風景に満ちた、農山村や漁村のことです。

---

発行責任者 「森島信夫を支援する会」会長 伊藤正雄  
事務局 岐阜市藪田南1丁目79-14  
マルビル4階中室  
電話 (058) 274-2978  
FAX (058) 273-1940

**「鄙からの発信・鑑定協会会長選挙に向けて」  
“ポスト「右肩上がり」時代”の鑑定評価のために、  
鑑定協会のパラダイム（思考の枠組）を転換しよう。**

平成11年4月吉日  
岐阜市美江寺町1丁目25番地  
(立候補者) 不動産鑑定士・森島信夫

私・森島信夫は、  
来るべき新世紀に向けて、我々の情熱と努力をネットワーク化し、不動産鑑定士という専門職業家の地位を、今こそ再構築するときと考え、(社)日本不動産鑑定協会・会長選挙に立候補致しました。

**Q1.森島信夫は会長として、どんな事業を推進するのか?**

**1. 対外活動のさらなる強化を行います。**

地価公示等公的評価やSPC法関連分野等のさらなる充実は当然です。同時に、政府審議会等で様々な政策・施策が検討されていますが、当鑑定協会にあっては、官界・経済界・マスコミに向けて「不動産の専門家集団」である鑑定協会として、様々な不動産問題について、専門鑑定士の立場から提案型の活動並びに情報の発信を行います。

**2. 次のような単位会の支援事業を行います。**

鑑定評価の将来と社会のニーズに対応するためには、基礎的データと鑑定士相互間のネットワークをそれぞれ整備充実させることが緊急の課題であり、各単位会を事業主体とする次の事業につきまして、鑑定協会支援に着手します。

**(1) 単位会のコンピューターネットワークの整備充実を支援する事業**

インターネットやイントラネットを整備し、公的評価の情報交換及び会議連絡業務をそれぞれ合理化し、鑑定業界内の情報受発信を活性化しますと共に、対外的な情報発信を充実することが急務と考えます。これら各単位会の情報ネットワーク整備事業を支援し、協会諸事業の活性化と合理化を図ります。

**(2) 単位会の、土地情報収集体制の充実を支援する事業**

各単位会の土地取引情報の収集調査体制の充実を支援します。取引全数調査による、土地センサスの実現を目標とし、公益に資するようにします。又、取引情報の有効活用を行い、近い将来に実施が予見される取引情報公開制度導入に備えます。

**(3) 単位会の、地図情報システム導入を支援する事業**

地価公示・地価調査・相続税標準地・固定資産税標準宅地等、公的評価標準地のデータファイルと位置図を整備してCD-ROMに搭載する各単位会事業を支援します。この事業は鑑定評価の精度向上に資すると同時に、将来的に鑑定評価業務の業際業務拡大を指向する有力なツールとなり、社会に貢献できる事業でもあると考えます。

